

長谷川鉄工

自然冷媒化 案件対応で 冷熱エンジンが堅調推移

海外事業活性化への顧客接近も



小野 良二社長



狩野 剛一取締役

産業用冷凍機製造と冷熱エンジンアリンクを両

再開している。

同社は自然冷媒のアンモニア(NH₃)圧縮機を搭載した産業用冷凍機のパイオニア。顧客要求に基づき専用設計の冷凍機を国内外の漁船向けに供給しており、マグロ漁船用冷凍機で世界トップシェアを誇る。同冷凍機を活用した冷熱エンジンアリンク事業も国内外で手掛け、冷熱設備や製氷プラントの設計・施工実績も蓄積する。近年は独自の冷熱システムのアプリケーションを開発し、NH₃/CO₂冷却システム「NiCRESS(ニークレス)」、超低温二気冷凍システム「CARUS(カールス)」、庫内側のアプリでは自然対流&ふ

く射冷却新システム「Yuricargo(ユリカーゴ)」、高効率陽圧除湿空調システム「DEMS(ディームス)」を独自システムとして訴求している。

昨年来、国内の冷凍冷蔵設備市場では「脱フロ」・低炭素社会の早期実現のための省エネ型自然冷媒機器導入加速化事業補助金」など国の補助金が動機付けとなり、自然冷媒採用冷凍機や関連冷凍システムの需要が増加傾向。自然冷媒系アプリを提供する長谷川鉄工にも、低温物流倉庫、製氷プラント、食品加工場などから設備更新需要が多く寄せられている。小野社長は現況について「冷熱事業は国内出荷分に

いる状況。幸いにも、今期は期初の段階で前期からの持ち越し工事案件が複数件あったことに加え、既存のお客様から自然冷媒化の設備改修の引き合いを多数頂戴しており、受注量を確保できています。通期業績見通しは悪くない」と話す。

今期に手掛けた事例では、石川県内の低温物流倉庫でNH₃アリンククーリングシステム、CO₂直膨式冷却システムをそれぞれ完工。また東京都内の低温物流倉庫では、同社のきめ細やかなコンサルティング営業やアフターサービス面での柔軟性が施主から好評を博し、同業他社のCO₂直膨式冷却システムから長谷川鉄工の「NiCRESS」へのスペックチェンジを実現した。自然冷媒化案件に対応する際、CO₂直膨式のみは偏重せず、NH₃の選択肢も含めた同社ならではのブレゼンテーションが光った事例は少なくない。

同社は昨年来、営業・施工の両部門の業務工程の調整役を担う「冷熱技

術センター」を立ち上げ、受注前の営業支援、受注後の設計・施工の迅速化、技術課題解消に向けた活動を強化している。顧客と対峙する営業部門が顧客から得た情報を実務に当たる設計・施工部門へ正確に流し込む「案件情報の整流化」を社内の改善テーマとしている。冷熱技術センター長を務める狩野剛一取締役は「毎週1回の受注施工会議では、営業部門が引き合い、積算、交渉といった受注活動の上流段階で正確な情報を下流側の設計・施工部門に伝え、設計部門も営業部門と伴走させる活動を推進する中で極力業務上の無駄を省き、効率の良い受注・施工となるように交通整理を図っている」と語る。同社はNH₃冷凍機を核に100年以上の技術の蓄積がある。持ち前の技術力を発揮するフィールドを広げるためにも営業力をさらに磨く必要があると判断。成長戦略を加速させる構えだ。

コロナ禍で硬直状態の海外事業にも活路を求め

ていく。海外事業は漁船用冷凍機の販売が中心。「4月にはベトナムへ出張した。5月にはインドネシア、6月にはタイ、フィリピンへの出張も予定している。現地の販売代理店やエンドユーザー元へ出向き、商談機会を設けていく(小野社長)。とりわけベトナムでは同国向けに開発した大型機種の新訴求に力を割き、インドネシアでは冷熱エンジンアリンク案件のスーパーバイザーとして代理店に対する設計支援等を強化していく考え。同社は今年8月に法人設立

起算で100周年を迎え、社歴が1世紀に至る。小野社長は「コロナ下で働きにくい環境が続く中、社員は皆、気をはいてくれている。8月以降には当社の第2世紀が始まる。コロナ禍で溜め込んだエネルギーを来期以降、良い形で爆発させてくれることに期待したい」と結んだ。

同社は今年8月に法人設立起算で100周年を迎え、社歴が1世紀に至る。小野社長は「コロナ下で働きにくい環境が続く中、社員は皆、気をはいてくれている。8月以降には当社の第2世紀が始まる。コロナ禍で溜め込んだエネルギーを来期以降、良い形で爆発させてくれることに期待したい」と結んだ。

同社は今年8月に法人設立起算で100周年を迎え、社歴が1世紀に至る。小野社長は「コロナ下で働きにくい環境が続く中、社員は皆、気をはいてくれている。8月以降には当社の第2世紀が始まる。コロナ禍で溜め込んだエネルギーを来期以降、良い形で爆発させてくれることに期待したい」と結んだ。

同社は今年8月に法人設立起算で100周年を迎え、社歴が1世紀に至る。小野社長は「コロナ下で働きにくい環境が続く中、社員は皆、気をはいてくれている。8月以降には当社の第2世紀が始まる。コロナ禍で溜め込んだエネルギーを来期以降、良い形で爆発させてくれることに期待したい」と結んだ。

同社は今年8月に法人設立起算で100周年を迎え、社歴が1世紀に至る。小野社長は「コロナ下で働きにくい環境が続く中、社員は皆、気をはいてくれている。8月以降には当社の第2世紀が始まる。コロナ禍で溜め込んだエネルギーを来期以降、良い形で爆発させてくれることに期待したい」と結んだ。

同社は今年8月に法人設立起算で100周年を迎え、社歴が1世紀に至る。小野社長は「コロナ下で働きにくい環境が続く中、社員は皆、気をはいてくれている。8月以降には当社の第2世紀が始まる。コロナ禍で溜め込んだエネルギーを来期以降、良い形で爆発させてくれることに期待したい」と結んだ。

同社は今年8月に法人設立起算で100周年を迎え、社歴が1世紀に至る。小野社長は「コロナ下で働きにくい環境が続く中、社員は皆、気をはいてくれている。8月以降には当社の第2世紀が始まる。コロナ禍で溜め込んだエネルギーを来期以降、良い形で爆発させてくれることに期待したい」と結んだ。

同社は今年8月に法人設立起算で100周年を迎え、社歴が1世紀に至る。小野社長は「コロナ下で働きにくい環境が続く中、社員は皆、気をはいてくれている。8月以降には当社の第2世紀が始まる。コロナ禍で溜め込んだエネルギーを来期以降、良い形で爆発させてくれることに期待したい」と結んだ。

同社は今年8月に法人設立起算で100周年を迎え、社歴が1世紀に至る。小野社長は「コロナ下で働きにくい環境が続く中、社員は皆、気をはいてくれている。8月以降には当社の第2世紀が始まる。コロナ禍で溜め込んだエネルギーを来期以降、良い形で爆発させてくれることに期待したい」と結んだ。

同社は今年8月に法人設立起算で100周年を迎え、社歴が1世紀に至る。小野社長は「コロナ下で働きにくい環境が続く中、社員は皆、気をはいてくれている。8月以降には当社の第2世紀が始まる。コロナ禍で溜め込んだエネルギーを来期以降、良い形で爆発させてくれることに期待したい」と結んだ。

同社は今年8月に法人設立起算で100周年を迎え、社歴が1世紀に至る。小野社長は「コロナ下で働きにくい環境が続く中、社員は皆、気をはいてくれている。8月以降には当社の第2世紀が始まる。コロナ禍で溜め込んだエネルギーを来期以降、良い形で爆発させてくれることに期待したい」と結んだ。

同社は今年8月に法人設立起算で100周年を迎え、社歴が1世紀に至る。小野社長は「コロナ下で働きにくい環境が続く中、社員は皆、気をはいてくれている。8月以降には当社の第2世紀が始まる。コロナ禍で溜め込んだエネルギーを来期以降、良い形で爆発させてくれることに期待したい」と結んだ。

同社は今年8月に法人設立起算で100周年を迎え、社歴が1世紀に至る。小野社長は「コロナ下で働きにくい環境が続く中、社員は皆、気をはいてくれている。8月以降には当社の第2世紀が始まる。コロナ禍で溜め込んだエネルギーを来期以降、良い形で爆発させてくれることに期待したい」と結んだ。